

『世界の家 世界のくらし SDGsにつながる』

国際理解1 キッチン, ダイニング』 ERIKO / 著 汐文社

お米は日本の主食ですが、他の国ではタコス、パスタ、肉などが主食です。食べるものに合わせた調理道具を使い、台所の造りも国によって違っています。アルゼンチンでは台所の横にバーベキューグリルがあります。一方タイでは、外食の習慣があり料理をあまりしないので、台所がない家もあるんです！他の国の文化や風習をのぞいてみよう。



『人口減少で日本はようになる？ 未来の社会について考えよう！』

河合雅司 / 著 PHP 研究所

日本の人口はお年寄りが多く、子どもが少ないため、100年後には今の半分の人口になるといわれています。若い人が減り、お年寄りが増えると、どのような社会になるのでしょうか。その時をむかえたらどのように対処すればよいか、未来を生きる子どもたちにむけてわかりやすく解説されています。



『ケンさん、イチゴの虫をこらしめる 「あまおう」栽培農家の挑戦!』

谷本 雄治 / 著 フレーベル館

この本は、いちご作りを始めたケンさんの奮闘記です。農業を使わずに安全に育てたい。そのためには、葉や実を食べる害虫をどうやって退治するのか。まず試したのは天敵農法。害虫を食べる虫をハウスの中にまく方法でした。しかし、1年目はうまくいきませんでした。2年目はバンカープランツ法を試してみることに。さてどんな方法なのでしょう。



『レオナルド・ダ・ヴィンチとミケランジェロ ルネサンスが生んだ天才芸術家』

高橋 明也 / 監修 東京 東京美術

ルネサンスを代表する二人の偉大な芸術家、レオナルド・ダ・ヴィンチとミケランジェロの作品をわかりやすく紹介しています。二人の絵の個性や、作品の違いを見ることができます。



下京
図書館だより
2021 春

5年生
6年生

『日本の神話えほん 1 あまのいわや』

ふしみみさを / 文 ポール・コックス / 絵 岩崎書店

日の神様天照は、乱暴な弟(須佐之男)に怒り、天の岩屋という洞窟に隠れてしまいました。日の神様がかくれてしまったので、天も地もまっ暗になり、夜がいつまでも続き世界は、災いにみちあふれました。そしてついに…。奈良時代にできた『古事記』

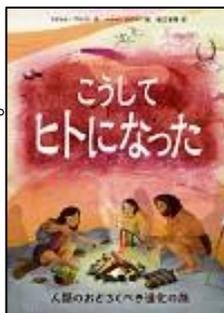
という本に載っているおはなし。絵本でぜひ読んでみてください。



『こうしてヒトになった 人類のおどろくべき進化の旅』

マイケル・ブライト / 作 ハンナ・ベイリー / 絵 堀江 里美 / 訳 化学同人

この本を読むと、人間は尊い存在だと思われず、道具を使って狩りをしたり、火を使って寒さや天敵から身を守ったり、家を作ったり。そして、動物ではできなかった快適な世界を造りました。生命の起源や人類の歴史、進化をこの本をとおしてたどってみませんか。



『セント・キルダの子』

バス・ウォーターズ / 文・絵 原田勝 / 訳 岩波書店

セントキルダ諸島は、世界のはての島とよばれる、スコットランドの小さな島。ジョンはこの島で生まれ、島で暮らした最後の島民のひとりになりました。島での暮らしは、食料や羽毛になるシロカツオドリを1年に7000羽とり、公平に家族にわけていました。子ども達は学校に行っても、家の手伝いがあれば早退をしていました。そのように協力しあい仲良く暮らしていた島に観光客がおとずれるようになり、島がだんだん変わっていききました…。



『クジラが歩いていたところ 動物たちのおどろくべき進化の旅』

ドゥーガル・ティクソン / 作 ハンナ・ベイリー / 絵 橋本あゆみ / 訳 化学同人

地球上の生命の進化の歴史を伝えている本です。歴史年表があり、地球の変化、たとえば〇〇の時代に〇〇が、こんな風に進化していったということが描かれています。文章は多いですが、絵が大きく載っていますので、とてもわかりやすいですよ。



『精霊人、はじめました!』 宮下恵菜/作

十々夜/絵 PHP 研究所

なんのとりのえもなく、地味な僕。名前も横棒1本の一。

そんな僕がものに宿る精霊や神と対話ができる精霊人になっちゃった!そしてサルみたいな石像に宿る精霊のルーと出会う。その日の夕方、母さんが倒れた!病院で検査しても異常なし。けど僕には、母さんのまわりに黒いものが見える!これは悪霊のしわざ?精霊人になった僕が助けなくちゃ!



『しばたかひろのヘンテコねんど教室』 しばたかひろ/著 マイナビ出版

ねんどで動物や貯金箱を作ったことはあるよね。でも「中身の無いみかん」や「家まで蹴った石」は作ったことないよね。この本に紹介されている作品は、どれもひとひねりされたものばかり。さあキミも自分だけのヘンテコねんどを作ってみよう!



『もしもトイレがなかったら』 加藤篤/著

少年写真新聞社

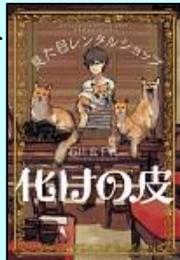
災害などでトイレが使えなかったらキミはどうする?①仮設トイレがとくのを待つ②がまんする③その辺りでする④トイレに流すための水をさがす。実はどれも正しくありません!①を解説すると、仮設トイレはトラックで運ばれてきます。地震で道路がでこぼこになっていると、トラックは通れないのでがまんの限界がきてしまいます。では何が正解?!答えは本の中に!トイレの大切さに気づく1冊です。



『見た目レンタルショップ 化けの皮』

石川宏千花/著 小学館

狐使いの庵路は、「見た目を变えたい」と願う人と化けた狐を入れ替える能力を持っている。レンタルショップには様々な客がくる。16才哲也はカッコいい大人の見た目を希望。その姿で向かったのはファーストフード店。いつも騒いでいる女子高生に文句を言ってやる。見た目を变えようと全てがうまくいく?お客の物語と並行して、庵路や狐の過去も明らかになっていきます。



『みそしるをつくる』 高山なおみ/文

長野陽一/写真 ブロンズ新社

お鍋に水をいれて、こんぶ、にぼしをいれて…。みそしるの作りかたを子どもに向けて紹介した写真絵本です。作る時は、火や包丁に気をつけながら挑戦してくださいね。みそしるで、体も心もぽかぽか。



『消えたレッサーパンダを追え! 警視庁「生きもの係」事件簿』 たけたにちほみ/文 西脇せいご/絵 学研プラス

夜中にパンダ舎の金網の一部がきりとられ、動物園からレッサーパンダがぬすまれた。捜査をしていくと、男性がペットとして飼っていた。どんなルートでこんなことに?犯人は一体どんな人物なのか。警視庁生活環境第三係、通称「生きもの係」の福原警部補のもとには、様々な事件が舞い込んできます。これは、実話を元にした物語です。



「読書マラソン」100冊

達成したら図書館へ来てね!

カウンターで賞状を渡すよ!

『キャラ絵で学ぶ!キリスト教図鑑』

山折哲雄/監修 いたうみつる/絵 小松事務所/文 すばる舎

キリスト教ってどんな教え?キリスト教の行事って?など、キリスト教についてのソボクな疑問に答えている本です。西洋文化を理解するのに欠かせないキリスト教を、いたうみつるさんのユーモアあふれるキャラ絵で、わかりやすく説明されています。難しい内容も簡単に読み進むことができ、西洋文化、日本のキリスト教文化を知ることができます。



下京図書館

〈場所〉

下京区の新町通と松原通が交わる
ところを南に少し行ってね。

修徳公園の北側にあります!

〈開館時間〉

月・水～金曜日

午前9時半～午後7時(しばらくの間)

土・日曜日・祝日

午前9時半～午後5時

(火曜日はおやすみ!)

